

◎向日市民憲章◎

- 1 住みよいまちを力を合わせてつくりましょう
- 1 きれいな緑と水と空を守りましょう
- 1 働くよこびと心のふれあいを大切にしましょう
- 1 すくれた教育と文化を育てましょう
- 1 明るいくらしと福祉のまちをきずきましょう



民秋市長

心のふれあう市民本位の市政の推進

予算編成方針

わが国の経済は、世界景気の回復、物価の安定、技術革新の進展等を背景として、ゆるやかな回復が期待される状況ですが、行政改革という大きな課題を抱えた国および地方の行政を取りまく環境は、依然として厳しいものが伺えます。

特に、地方自治体にとっては、国の行政改革が、国家財政の再建という観点から行われ、国庫補助負担率の引下げは、地方自治を圧迫するものと言えます。

ところで、昭和六十年度の国の予算案は、経費の徹底した節減合理化により、予算規模の抑制を図り、政策的経費では、三年連続してマイナスといわれています。

本市においても、景気回復の兆しが見られるものの、市税収入の大半を個人市民税が占めるという財政構造からして、依然厳しい状況が続いています。

このような中で、昭和六十年度の予算編成については、市税収入は昭和五十九年度に比べて伸びがあるものの、地方交付税の伸びは余り望みず、財源対策の廃止あり

るいは、国庫補助負担率の引下げなどにより、収入の大きな伸びが期待できない状況です。

私は、これらの厳しい財政環境に対処し、困難な諸条件を克服し、五万市民の今日のくらしを守り、福祉と文化、教育の充実した明日への理想のまちづくりを目指し、全力を傾注し、市政の発展に尽くしてまいります。

昭和六十年度の予算編成については、清潔で明るい心のふれあう市民本位の市政の推進を基本に、

- 第一 市民のくらしを守り健康と福祉の向上
- 第二 住みよい生活環境の整備
- 第三 心の豊かさをはぐくむ教育文化の充実

の三項目を行政施策の柱として、二十一世紀に向けて明るい展望を開けるふるさとづくりの諸施策を積極的に実行してまいります。

市民のみならずのご支援とご理解をお願い申し上げます。

60年度予算案

総額144億7千9百万円に

二十一世紀に向けて明るい展望が開けるふるさとづくりを

昭和六十年度の予算案がまとまり、六日から開会されている三月定例市議会に提案されています。

予算総額は、一般会計、特別会計など六会計で、百四十四億七千九百七十五万九千円となっています。

予算規模

九千円となりました。

一般会計

昭和六十年度当初予算案は、一般会計九十億七千四百万円、国民健康保険事業特別会計十五億二千九百二十三万九千九百九十九円、老人保健医療特別会計十五億四千四百八十九万九千九百九十九円、水道事業特別会計十億七千七百五十五万三千九百九十九円、農業共済事業特別会計九億九千九百九十九万八千八百八十八円、あわせて百四十四億七千九百七十五万九千九百九十九円となっています。

また、市民の生命と財産を守り安心して暮らせるまちづくりを図るために、消防器の設置を図ります。

市民のくらしを守り健康と福祉の向上

健康と福祉の向上は、農薬関係については、農道整備や農用水路の改修等に取り組み、商工関係については、経営講座や個別経営診断を実施し、商工業の一層の活性化を図ります。

また、市民の生命と財産を守り安心して暮らせるまちづくりを図るために、消防器の設置を図ります。

住みよい生活

環境の整備
生活道路の拡幅改良整備や交通安全対策事業を推進し、将来のまちづくりの基幹となる都市計画街路久世北茶屋線の整備事業を積極的に進め、また、市民体育館建設地横に、スポーツ・野外レクリエーションの場として活用できる広場機能とともに、市民の木、桜を植樹した市民のやすらぎとふれあいの広場を昭和六十三年度までに完成を目指しています。

さらに、公共下水道事業についても、引きつづき積極的に推進を図ります。

水道事業については、豊富に安定した良質の水を供給するため、一層努力をします。

心の豊かさをはぐくむ教育文化の充実

義務教育施設の充実については、老朽化に伴う改修工事や西ノ岡中学校の増築を行います。

社会教育関係については図書館の図書および文化資料館の調査収集展示の充実を図ります。

特別会計

老人保健医療会計
15億14万円

六十五歳から六十九歳までの重度障害者などの老人を含む七十歳以上の全老人に係る医療の給付に必要な経費を計上しました。

国保会計

15億2023万円

国民健康保険事業は、昨年十月に保険料の一部負担金を軽減する退職者医療制度を実施しました。

おもな新規事業

- ▽救急フェアー開催事業
- ▽消防用無線機の充実
- ▽防火水槽標準設計作成
- ▽病院群輪番制病院運営事業
- ▽老人の機能訓練事業
- ▽ねたきり老人対策(シニア)
- ▽国際青年年記念事業
- ▽図書館運営管理
- ▽資料館運営管理
- ▽市民体育館建設事業
- ▽西ノ岡中学校校舎増築事業
- ▽長岡京古瓦聚成刊行事業
- ▽公害測定器具の整備
- ▽蜂駆除用防護服(一般貸出)設置
- ▽市民のふれあい広場建設事業
- ▽阪急電車京都線連続立体交差事業に係る土質調査
- ▽心の豊かさをはぐくむ教育文化の充実
- ▽テレホンサービスの実施
- ▽寺戸コミュニティセンター運営管理
- ▽長岡京古瓦聚成刊行事業

また、「長岡京古瓦聚成」の発刊を予定しています。

市民の健康づくりとふれあいの場として、昭和六十三年京都国体の体操競技会場として、昭和六十一年の完成を目指して市民体育館の建設に着手します。

地域のコミュニティ活動

農業共済会計

6003万円

農業経営における不慮の事故により受ける損失に対し補償し、農業経営の安定と農業生産力の発展のために予算化しています。

下水道会計

10億7755万円

公共下水道事業は、昭和五十四年の森本町の一部供用開始以来、幹線工事は総延長約三三・四キロメートル、面的整備は約一三四ヘクタールの整備を完了し

企業会計

12億8888万円

豊富に安定して、良質の水を供給するため、昭和五十六年度から四か年計画で進めてきた第八次拡張事業も、昭和五十九年度完了します。

今後、清潔にして豊富低廉な水の供給に努力してまいります。

交通災害共済の加入受付開始

～1日1円で万一にそなえよう～

3月末日まで昭和60年度分の交通事故災害共済の加入申込受付をしています。万一の交通事故にそなえ、家族そろって加入しましょう。

この制度は、交通事故により加入者が負傷または死亡された場合に、災害の程度に応じて10,000円から最高120万円までの見舞金を支払うものです。

共済期間は、1年間(昭和60年4月1日～61年3月31日)です。手続きは、掛金1人あたり330円(365円のうち35円は市が補助)を持って、市役所生活環境課安全係までお申込みください。

※お問い合わせ 生活環境課安全係(内線234)

桜まつり

4月6日(土)・7日(日)
向日神社境内一円
〈雨天決行〉
主催 向日市商工連合会
後援 向日市他

